

# 第14回 環境保全型農業推進コンクールで優秀賞

「中北地域普及センター」



●受賞者の記念写真（上段左側から2人目と3人目）



●病虫害防除と整枝剪定講習会



●武田の里ウォークの様子

本年2月13日の全国環境保全型農業推進会議でJA梨北「新府桃共選場」の取組が優秀賞（全国農業協同組合中央会会長賞）に選ばれ、3月25日に関東農政局において、表彰状の伝達式と受賞者の事例発表が行われました。

中北地域普及センターから推薦した新府桃共選場は、昭和50年代から二重袋使用による農薬散布回数の削減や、生産者全員がエコファーマーとなり、環境保全型農業を実践しています。また地域活動では、桃の花見会、武田の里ウォークに参画して消費者との交流を行い、地域の活性化に貢献しています。

さらに、平成19年度から導入した農地・水・環境保全向上対策の推進と拡充をしたことが評価されました。

今後とも中北地域普及センターでは、環境保全型農業を実践する集団等に支援していきます。



●開講式

## 新規就農者の技術力アップ！ 果樹技術セミナー 開催中！！

「峡東地域普及センター」

峡東地域では、毎年20～30名が新規に就農しています。そのほとんどは、果樹経営へのUターン就農で、最近では、団塊の世代の退職帰農者が増えています。

峡東地域普及センターでは、JAや市等の関係機関と連携し、「果樹技術向上セミナー」を開催し、新規就農者の自立経営確立を支援しています。本セミナーは、果樹栽培に必要な基本的な技術や知識の習得を目的とし、現地講習会を主体とした実践セミナー（モモ、ブドウの2コース）と基礎知識を学習する基礎セミナーがあります。

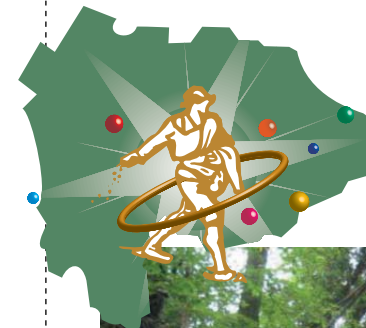
本年度の受講者は、65名で、年齢も20～60代と幅広く、それぞれが、将来の経営を思い描きつつ、熱心に受講しています。



●モモ摘果講習会



●ももの袋かけ講習



# RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

## 農村資源を活かした都市農村交流を支援

「峡南地域普及センター」



●当日集まった参加者



●親子で楽しむ茶摘み

**新茶**

峡南地域は、豊かな自然環境や景観、個性ある農産物や加工品、素朴な伝統文化など、魅力ある農村資源に恵まれています。

都市住民によるグリーンツーリズム等へのニーズが高まるなかで、峡南地域の隠れた豊かな資源を活用して、都市と農村の交流を行うことで地域農業の活性化が図られるものと期待されています。

峡南地域普及センターでは、峡南版グリーンツーリズムを実施している富士川農林学校などの様々な都市農村交流の取り組みを支援しています。

今年度は、「タケノコ狩り体験」に次いで2回目となる「茶摘み体験」が、5月24日(日)に身延町丸畑地区の茶畑で行われました。県内外から家族連れ37名が参加し、一番茶の収穫を楽しみました。



●茶摘み体験の様子

## 直売所「ふじさん」の設置による 活性化への取り組み

「富士・東部地域普及センター」

平成20年度鳴沢村では、生産者代表やJA鳴沢村、鳴沢村役場、農務事務所「道の駅なるさわの活性化に向けた会議」を組織し、「道の駅なるさわ」を拠点に農業振興を図るため、直売所の「経営理念」の策定と生産者の組織化、売り場の改善に取り組みました。

この結果、昨年の12月には、「ふじさん出荷組合」が設立され、本年3月24日には「ふじさん」という名称で直売所がオープンしました。これにより、生産者の意欲が一層高まり、周年出荷に向けた施設栽培の検討や、新規加工品開発への取り組みが活発化しています。



●オープニングイベント



●直売所「ふじさん」

